

# 「アステールプラザの演劇学校」第7期 開校!!

“演劇”を、より体系的に、より実践的に、長期スパンで学べる場として開校する「アステールプラザの演劇学校」第7期。1コマ(1日)からの受講が可能な[一般教養プログラム]は、各分野のスペシャリストをお招きして、“演劇”を多角的にとらえていくレクチャー&ワークショップです。舞台芸術に触れてみたい方、興味のある方ならどなたでも大歓迎★どうぞこの機会にご参加ください!

## 【一般教養プログラム】実施概要

### 「舞台美術」



5月25日(土) 15:00~20:00

5月26日(日) 13:00~18:00

舞台芸術におけるシーンを考えます。空間とモノと人に着目して、気になる空間をスケッチしたりパフォーマンスを持ち込んだりしながら、グループワークを主として“身体知”や“共感覚”を学びます。

※2日間通しての受講をおすすめします。

すぎやま いたる

講師 杉山 至 セノグラファー\*

1966年生。国際基督教大学卒。在学中より劇団青年団に参加。2001年度文化庁芸術家在外研修員としてイタリアにて研修。近年は青年団、地点、サンプル、てがみ座、デラシネラ、DanceTheatre LUDENSなど、演劇/ダンス/ミュージカル/オペラ等幅広く舞台美術を手掛ける。2014年、第21回読売演劇大賞・最優秀スタッフ賞受賞。舞台美術研究工房・六尺堂ディレクター、桜美林大学・四国学院大学・女子美術大学非常勤講師、NPO法人S.A.I.理事、二級建築士。演劇引力広島 第8~10回プロデュース公演舞台美術担当。

※セノグラファー:舞台の空間・背景をデザインする人、舞台美術家

### 「舞台技術」



6月3日(月) 18:30~21:00

舞台の基礎や公演までの流れを、実際の舞台資料を元に、舞台監督の視点から探るレクチャーを実施します。

おおしか のぶあき

講師 大鹿 展明

舞台監督として、演劇、ダンス、インスタレーションなど、ジャンルを越えて幅広く活動を展開。近年はアートイベント、企業イベントのテクニカルコーディネーターも務める。京都を拠点に国内はもとより海外での活動も多数。ヨーロッパ企画、地点、木ノ下歌舞伎、KUNIO、dumb type、高谷史郎、笠井毅、ひびのこづえ、「京都国際舞台芸術祭 KYOTO EXPERIMENT」、「MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA」など。広島では、ヨーロッパ企画の舞台に携わる。

### 「身体表現」



6月25日(火) 18:30~21:00

表現者の基軸となる“身体”について学び、相手とのコミュニケーションを大切にトレーニングします。

おの でら しゅうじ

講師 小野寺 修二

演出家、カンパニーデラシネラ主宰。日本マイム研究所にてマイムを学ぶ。95年~06年、パフォーマンスシアター水と油にて活動。その後文化庁新進芸術家海外留学制度研修員として1年間フランスに滞在。帰国後、カンパニーデラシネラを立ち上げる。マイムの動きをベースに台詞を取り入れた独自の演出で世代を超えて注目を集めている。第18回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞受賞。主な演出作品は『あの大鴉、さえも』『オフエリアと影の一座』『ロミオとジュリエット』(以上、2016年/東京芸術劇場他)、『変身』(2017年/静岡県舞台芸術センター)、『ふしぎの国のアリス』(2017年/新国立劇場)、『現代能楽集IX竹取』(2018年/シアタートラム他)等。また、瀬戸内国際芸術祭にて、野外劇『人魚姫』を発表するなど、劇場内にとどまらないパフォーマンスにも積極的に取り組んでいる。2015年度文化庁文化交流使。

### 「演劇概論」



7月9日(火) 18:30~21:00

演劇を取り巻く環境、社会におけるアートの役割と可能性を、教育や福祉の現場など他分野にもわたり思考します。他地域の事例も参考に地域での可能性を探り、“演劇”をツールとしたワークショッププログラムの体験からアウトリーチについて考えていきます。

ただ じゅんのすけ

講師 多田 淳之介

演出家、東京デスロック主宰、富士見市民文化会館キラリふじみ芸術監督(2010.4~2019.3)。1976年生。古典から現代戯曲、ダンス、パフォーマンス作品まで幅広く創作。俳優の身体、観客、時間を含めたその場での現象をフォーカスし現代演劇として作品化する。劇団作品の他、地域に滞在しての市民参加作品、小・中・高校でのコミュニケーション授業、大学での講義、ワークショップなどを通じて、演劇の持つ対話力、協同力を演劇を専門としない人へも広く伝える。アジア、ヨーロッパでの公演、共同製作など国内外問わず活動。2010年4月公立文化施設演劇部門の芸術監督として国内歴代最年少で就任。2014年1月日韓共同作品『가모메 칼메기』にて韓国で最も権威のある東亜演劇賞演出賞を外国人として初受賞。高松市アートディレクター。四国学院大学非常勤講師。